

サーキュラーエコノミー推進分科会

1 目的

サーキュラーエコノミーを推進するため、情報発信や交流の場の提供を通してリーディングモデルを構築する。

構成メンバー(401者) R8.1末現在

企業 (305者)

アイル・クリーンテック(株) / ASTRA FOOD PLAN(株) / 石塚化学産業(株) / 浦和レッドダイヤモンドズ(株)
(株)エコマテリアル / 片倉工業(株) / 川上産業(株) / (株)協同商事 / (株)GYXUS / 清水建設(株) / (株)ショーモン
(株)杉浦土木 / Smoke-i-freet / セキネシール工業(株) / (株)セキ薬品 / (株)そごう・西武 / 太平洋セメント(株)
日本シーム(株) / 日榮新化(株) / 日本ウエスト関東(株) / 日本毛織(株) / PHI(株) / (株)松田桐箱 / ライオン(株)

他多数

その他 (96者)

教育機関 3者. 市町村等 68者. 消費者・業界団体会員 25者



発表者:資源循環推進課

<1>



分科会の取組

2 取組概要

会合名	基調講演	発表	参加人数
総会(7/22)	海外のサーキュラーエコノミーの事例について	補助金採択者の事例発表(3者)	165人
セッション(2/9)	食品ロス・衣料品のアップサイクルに関する事例について	連携相手を募集する会員の事例発表(4者)	集計中

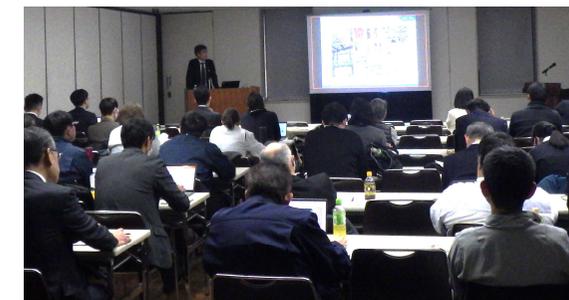


総会交流会

〈参加者の声〉

- ・海外や国内の多様な事例は参考になるので、引き続き紹介していただきたい。
- ・今後も事業者間のマッチングを行って欲しい。
- ・官民連携を行いたいので、行政とも交流したい。

研修	内容	参加人数
再資源化事業等高度化法研修会(12/4)	製造業が求める量・質の再生材の安定供給を目的に制定された「再資源化事業等高度化法」の研修会を実施	42人

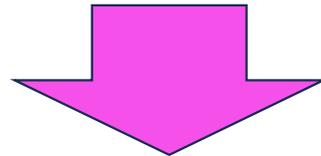


再資源化事業等高度化法研修会

今後の展開

○ 分科会会員の意見も踏まえ、重点的に取り組むテーマを設定

テーマ別の研究会設置 : 廃プラスチックや食品廃棄物など生活に身近な分野を検討



○ テーマ別の事例紹介によって、リーディングモデルを横展開

○ テーマ別交流会等を通じて、マッチングを更に推進



家族で取り組む ハブラシリサイクル！

誰もが使うハブラシで、自分／大切な人、きれいな地球環境を守る

ライオン株式会社
経営企画部ESG企画室長
千葉 瑞栄

埼玉県資源循環推進課

全埼玉私立幼稚園連合会

株式会社コミュニティネット

ライオン株式会社

このテーマに取り組む理由：ReDesign（リデザイン）

3 すべての人に
健康と福祉を



「お口にいい！」
毎月8日は歯ブラシ交換DAY

毛の開いたハブラシを交換することで、
お口の健康維持につながります。
汚れを落とす力が低下するため、
交換は1ヶ月が目安です。

ReDesign



「環境にいい！」
ハブラシリサイクル

使用済みハブラシを回収して、
植木鉢などのプラスチック製品に
再生します。

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



Well-Beingな毎日の実現、健康寿命の延伸



地球のサステナビリティ

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

参加メンバーと推進体制（産官学民連携）

それぞれのプレイヤーが自分ごととして役割を果たす

17 パートナシップで
目標を達成しよう



全埼玉私立幼稚園連合会

- 環境教育の促進
- 現場での回収・保護者への周知

埼玉県（環境部 資源循環推進課）

- サーキュラーエコノミーの推進
- 企業斡旋、優良事例の創出

(株)コミュニティネット

- ハブとしての機能（生活者への接点）
- DXの促進（生活者意識の醸成をサポート）

ライオン(株)

- 「健康な生活習慣づくり」と「捨てない習慣づくり」の実践
- 「経済性を伴う」活動



実装内容：回収と教育の両輪

ハブラシリサイクルへの参画



1. 回収BOX (Collection Box)

- 簡易段ボールBOXを使用（組み立て・管理が容易）。
- 回収業者へそのまま引き渡し可能（中身を触らず衛生的）。
- 子供たちの塗り絵を貼り付け、親しみやすさを演出。

環境教育、お口の健康を学ぶ

2. 環境教育コンテンツ

《紙芝居》



歯の機能や大切さを知り、使ったハブラシをリサイクルする意味を学ぶ。

《ダンス動画》



紙芝居の内容を基に、正しい姿勢や身体の使い方を学ぶ。リサイクルに纏わる表現を楽しく身体で覚える。

家族で取り組むハブラシリサイクル！

課題と解決策：コストからバリューへ

課題

資源循環促進には莫大な費用（特に物流費）がかかる。
活動としての継続が難しい。

使用済製品を「有価資源」として
取り扱いを推進いたします

【各市町村の皆様へ】
ご理解・ご協力の
程、宜しくお願い
致します。

1. 経済性追求

- 活動から「事業性」への転換
- 出口戦略の創出（高付加価値な再生プロダクト）

2. 効率化

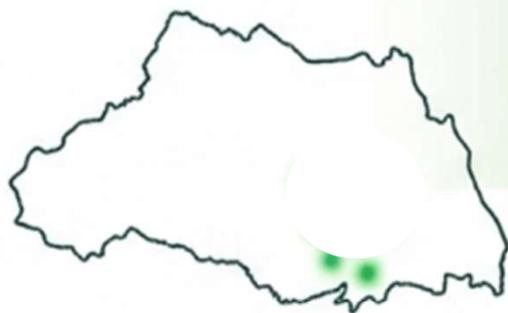
- エリア集約による物流ルート最適化
- ハブラシ以外の資源回収の組み込み（同時回収によるコスト圧縮）

今後の展望：点から面への拡大（ロードマップ）

市町村単位（点）から県単位（面）への拡大を目指す

2025年度 (Phase 1)

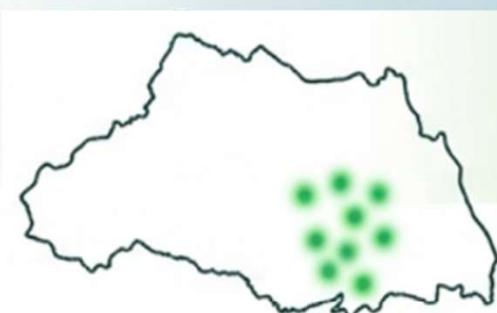
10園 / 0.4t



モデル実装

2026年度 (Phase 2)

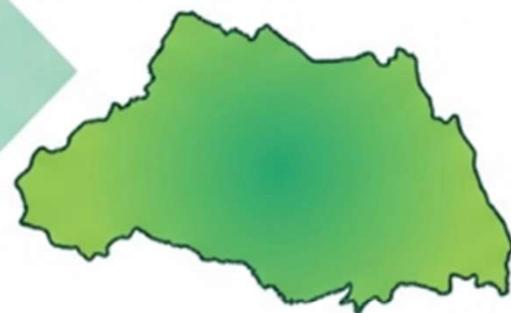
150園 / 9.0t



エリア拡大

2027年度 (Phase 3)

500園 / 30.0t



県全域

再生材の事業活用には重量獲得が必要不可欠であり、県全域への拡大によりこれを実現する。

Output（成果物）：リサイクルの出口戦略

回収したハブラシを洗浄・粉砕し、新たな価値を持つ製品へ生まれ変わらせる。

1. 素材化（Material）



再生ペレット。品質を安定させ、衛生面・安全性を確保。

2. 建材活用（Signage）



オフィス等で活用できるサインプレート。デザイン性の高いアップサイクル事例。

3. 成型プロダクト（Products）



植木鉢やコップなど、生活に身近な高付加価値製品への再生。

経済性を伴う“有益的資源の再利用”を目指します

LIONの約束：プラスチックを「捨てる」から「巡らせる」へ！



生活に欠かせない からこそ、責任を

生活に欠かせないプラスチック。
それを廃棄するのではなく再利用
することで、環境への負荷を軽減します。
これは事業展開する企業の責任です。



SDGs 未来都市
埼玉県

循環型社会
への貢献

LION

環境負荷を減らし、
未来をつくる



目指せ2050年！ 高度な資源循環

2050年までに、プラスチックの
高度な資源循環の実現を目指
してまいります。



社会との共創×技術革新

ひとりではできません。社会との「共創」と、
リサイクル技術の「革新」を推進し、
みんなで循環の輪を回します。